

Labo NEWS

Aichi Association of Medical Technologists Report

2026

3

MARCH

らぼニュース

CONTENTS

- 巻頭言
生殖医学検査研究班の紹介 … 1
- 地区だより(西三河) …………… 2
- New Year Party2026開催報告
…………… 3
- フレッシュセミナー2026………… 4
- タスク・シフト／シェアに関する
厚生労働大臣指定講習会
開催について…………… 5
- 会員執筆物の紹介原稿募集 … 5
- メールアドレス登録のお願い … 5
- 愛臨技HP求人情報掲載について
…………… 5
- 研究会…………… 6
- 第48回シスメックス学術セミナー
…………… 7

2026年2月1日現在 正会員数 3,998名

生殖医学検査研究班の紹介

— 体外受精で臨床検査技師が担う役割 —

生殖医学検査研究班 黒川 理菜

少子化対策の一環として、2022年に体外受精が公的医療保険の適用となり、2023年には約8.5人に1人の割合で体外受精により子どもが誕生しています。これは、2013年の約24.2人に1人という数字に比べると大きな変化であり、体外受精に対する心理的・経済的ハードルが下がってきたことを実感します。しかし年齢制限や回数制限の壁も存在し、不妊に悩むカップルは今も多くいらっしゃいます。

胚培養士の役割は体外で採取した卵子と精子を預かり、受精操作・培養・凍結・融解を行い胚移植へ繋ぐことです。愛知県内では体外受精実施施設が43施設あり、そのうち11施設が病院、32施設が診療所です。病院では臨床検査技師が胚培養士の役割を担い、数名の少人数体制で実施することが多いです。このような体制は1人の知識や技量に対する責任が重く、それ故に不安や孤独を感じることもあります。さらに、臨床業務を安全に遂行することが最優先であり、新しい知見や技術の情報収集が難しいこともあります。こうした状況の中で、生殖医学検査研究班は体外受精を実施している病院に所属する臨床検査技師10名で構成されており、施設間の垣根を越えて積極的な情報交換ができる環境を築いています。全国でもこのような研究班があるのは愛知県のみであり、班員一同、この環境に大いに助けられていると感じています。「我が子を抱きたい」という患者様の願いを叶えるべく、医師や看護師と共に日々奮闘しております。受精卵の質をいかに保ち胚移植に繋げるかはまさに我々の技術にかかっています。

研究会や講演会を年に3回開催しており、精液検査等の基礎的な内容から日々の業務に役立つ臨床的なテーマまで幅広く取り上げています。胚培養士の業務を担当している方はもちろん、精液検査を実施している方、生殖医療に興味をお持ちの方もぜひご参加いただければ幸いです。





外観



受付から続くホスピタルストリート



屋上庭園

八千代病院は名鉄本線の沿線に位置し、最寄りには新城駅、近くに国道1号線が通っており、アクセスしやすい場所にあります。

地域中心の医療を基本方針に掲げ、地元へ根付く医療を目指した病床数420床からなる総合病院です。検査室は、定評のある不妊検査室をはじめとし、病理、細菌、生理、検体など各専門分野に分かれ、常勤28名、パート13名、計41名の職員が所属しています。

明治33年(1900年)に開業してから常に地域の医療を支え、平成17年(2005年)に現在の地へ新築移転しました。平成21年(2009年)には愛知県で初の「社会医療法人」となり、近隣病院と協力して、2次救急医療を積極的に行い、地域医療の主となる使命を明確にすることとなりました。その地域に足りない医療を率先して行い、地域住民が困らないように、遠くまで足をのばさなくても同等の医療を身近で受けられるよう日々取り組んでいます。

急性期から在宅までを切れ目なく受け持ち、2018年からは老人保健施設も新規加入しました。

約30の診療科に加え、診療施設部門として歴史のある不妊センター、鏡視下手術センター、血液浄化センター、総合リハビリセンター、近年開設された小児アレルギーセンターなどをもち、各分野にお

いて専門的な医療施設を整備しています。

2005年に移転した現在の建物は、先進の医療を提供するための機能性と、人と環境にやさしいアメニティの両立を目指して建設されました。全ての病室から屋上庭園や遠くの山並みを眺められ、緑ゆたかな療養環境の中、治療に専念していただくことができます。2009年には愛知県「人にやさしい街づくり賞」を受賞し、大規模な医療施設で患者が受ける威圧感、疎外感などの環境要因をひとつひとつ丁寧に取り除く努力が各所にみられるとの講評をいただきました。

2015年には、シカゴで開催された国際病院連盟主催第39回世界病院会議において、「救急から在宅ケアまでの切れ目ない包括的医療提供体制が優れたモデルである」とされ、優秀賞をいただいております。

安城市は、名古屋から30キロ圏内の活気ある街です。市内にはデンパークや堀内公園、桜の見られる安城公園等を有し、夏には風物詩である「安城七夕まつり」が開催されます。2025年4月には、ららぽーと安城が開業し、さらに賑わいを増しています。

安城市は現在人口増加をしており、地域が発展する中、医療の面もさらに充実させていくべく今後も近隣病院と連携し、地域のための医療に取り組んでいきます。

New Year Party2026 開催報告

組織部 伊藤 友一：(医)東名病院 事務長

1月16日(金)、名駅から徒歩3分「伊太利食房 ZenZero 名駅店」にて、会員・賛助会員総勢104名で、年の初めを楽



しく祝うことができました。オードブル、パエリア、パスタ、デザートと去年とは一新された料理で、お腹も味も満足でき



ました。久々に会った人たちとの歓談に夢中になっているはずなのに…いい？聞いてっ！とシャウトしたとたん、キターッあの司会がはじまった！と感じた人が多かった？のか、一斉にたくさんの視線をもらいました(笑)。夢の国、海鮮、和牛のほか豪華賞品を取り揃え、くじ引き大会がスタート！今回は、副会長の合いの手もあり、大いに盛り上がりを見せたかも？私の司会に、プロの人？と声もかけて頂き、ファン拡大中!?ここまで読んで気になったあなた！ぜひ来年!!

「New Yearパーティー2026」 の福男！

厚生連海南病院 樋口 昌哉



今年も新年恒例の愛臨技 New Yearパーティーが『伊太利食房 ZenZero』にて開催されました。今回、他施設や賛助会員の方々との交流に加え、2026年7月5日(日)に中日ホール&カンファレンス

で開催される「第24回愛知県医学検査学会」の宣伝のため、岩崎学会長をはじめ実行委員の方々とともに参加させていただきました。

パーティーは藤田会長のごあいさつに始まり、和やかな雰囲気の中、食事とお酒を楽しみながら多くの方々との交流することができました。そして、皆がほろ酔いになった終盤には、年初めの運試しとなる抽選会が行われ、名物司会者の有名なフレーズ(私もすっかり虜になりました!)と豪華賞品を前に、会場は大いに盛り上がりました。

豪華賞品が当たるよう皆が願う中、抽選にあまり縁のない私は期待半分でお酒

を楽しんでいました。するとその時、なんと会長賞の「ディズニーランド ペアチケット」で名前が呼ばれました！当たることに慣れないため、うまくリアクションができなかったことは今でも反省しております。会場からは祝福の声とブーイングが入り混じていましたが、「New Yearパーティー2026の福男」として、ありがたく頂戴しました。

翌日、ディズニーランドが当たったことを家族に報告すると、娘がとても喜んでくれました。しかし娘から「今年の運、使っちゃったね」と一言。複雑な気持ちではありますが、良い一年のスタートが切れたのではないかと思います。

今回、New Yearパーティーに初めて参加させていただきましたが、上の方だけが集まる堅苦しい会ではなく、若い方も多く参加されており、他施設の方と親睦を深めることができる大変良い機会でした。ぜひ、皆様も参加してみてください！



フレッシュセミナー 2026

春一番の恒例行事「フレッシュセミナー」、今年も開催いたします。日臨技ならびに愛臨技の技師会活動の紹介と、今回も研究班班員の先輩技師から班活動の紹介だけでなく、担当分野における検査のやりがい、魅力、苦勞していること、新人さんへのアドバイスなどをお話しいたします。

また、フリートークでは新人さんからの質問に気兼ねなくお答えします。本セミナーは会員・非会員問わず、この春に入職されます新人さんが対象となっておりますので、是非、お声かけをお願いいたします。

【基礎教科：20点】

日 時：4月19日(日)9:30～11:30(9:10より受付開始)

場 所：ウインクあいち 902会議室(9階)

会 費：無料

対 象：新入職者100名(定員になり次第締め切り)

内 容：①臨床検査技師会の紹介(日臨技・愛臨技)

愛知県臨床検査技師会 会 長 藤田 孝(中部大学)

副会長 刑部 恵介(藤田医科大学)

日本臨床検査技師連盟の紹介

愛知県支部 支部長 小木曾美紀

②研究班活動紹介

一般検査研究班 伊藤 彰洋(JA 愛知厚生連 豊田厚生病院)

病理細胞検査研究班 安藤 裕也(JA 愛知厚生連 江南厚生病院)

③フリートーク

司会：愛知県臨床検査技師会 組織部 和出 弘章(トヨタ記念病院)

榎本 喜彦(四日市看護医療大学)

申し込み：日臨技会員未登録及び申請中の方も参加可能です。

①氏名、②施設名(所属なければ空欄)、③会員番号(非会員は空欄)、

④連絡先(メールアドレス)、⑤質問(聞いてみたいこと)を

下記の「申込・問い合わせ先」アドレスまでお送りください。

締め切り：4月13日(月) (定員になり次第締め切り)

申し込み・問い合わせ先：aamt.soshiki@gmail.com

愛知県臨床検査技師会 組織部 和出弘章(トヨタ記念病院)

タスク・シフト／シェアに関する 厚生労働大臣指定講習会開催について

本講習会は、令和3年度より開始し、令和7年度をもって終了予定としておりました。この期間中、愛臨技として計43回開催し、県内会員2,611名が修了することができました。実務委員としてご協力いただきました会員の皆様に、心より感謝申し上げます。

来年度以降の開催につきましては、日本臨床衛生検査技師会より継続開催の依頼が届いております。一方で、開催にあたっては中部圏支部単位での実施や、基礎講習修了者数、募集締切前に最少施行人数を満たすことなど、一定の基準が設けられております。

以上を踏まえ、愛臨技としては令和8年度は前期での開催は行わず、後期での開催を予定しております。今後の詳細につきましては、技師会ホームページにて随時掲載してまいります。また、他県で開催される講習会への応募も可能となる予定ですので、日臨技の本講習会専用ホームページを適宜ご確認ください。

何卒ご理解賜りますよう、よろしくお願いいたします。

会員執筆物の紹介原稿募集します！

会員の業績紹介の一つの方法として、らぼニュースにて論文、書籍執筆(分担執筆を含む)などの紹介掲載を受け付けます。自薦・他薦は問いません。

掲載を希望される方は愛臨技 HP【会員サイト】(各種手続き)に申請書、手続き方法を掲載してありますのでご覧いただき、お申し込みください。



愛臨技 HP

メールアドレス登録と受信設定のお願い

毎月会報『らぼニュース』Web版発行のお知らせを日臨技会員システムに登録されたアドレス宛にメール配信しています。その他、重要な情報提供、お知らせなどもメール配信させていただきます。会員の皆様には登録メールアドレスの確認と、変更がありましたら日臨技会員専用ページにて変更手続きをお願いします。また、迷惑メール防止の受信設定をされている方は、下記のメールアドレスからの受信ができるよう、設定をお願いします。ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

jamt_pref23@sys.jamt.or.jp

愛臨技HP 求人情報掲載

愛臨技HPに臨床検査技師求人情報の掲載を始めました。

掲載を希望される会員は、愛臨技HP会員サイト内「各種手続き」、「求人掲載依頼」画面にて必要事項を入力、求人票登録をお願いいたします。

なお、求人掲載は施設会員のみとしますが、求人情報は会員以外でも閲覧可能です。

詳細は愛臨技HPにてご確認ください。

研究会

愛臨技会員：無料
日臨技非会員：2,000円(消費税10%含む)
県外会員：500円(消費税10%含む)

生物化学分析検査研究班

専門教科：20点

日時：4月4日(土)
15:00～17:00(受付14:30～)

参加方法：日臨技 HP から事前登録
3月1日(日)～27日(金)

定員：60名

開催方法：現地開催

場所：リップルスクエア
アーバンネット名古屋ビル20F

テーマ：微量栄養素について知ろう

講師：

- 「ビタミンを基礎から知る」
藤田医科大学病院 井上 結以
- 「微量元素と栄養」
名古屋市立大学病院 清水 和樹
- 「鉄代謝マーカーについて」
株式会社シノテスト R&Dセンター 生化学ユニット
近藤 善紀

司会：医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 櫻井 祐月
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 三村 文香

内容：本研究会では、外注検査にすることが一般的な「微量栄養素」をテーマに、臨床的意義や検査結果、注意点など、基礎的な部分から解説します。

尚、当研究会に参加を希望される非会員、賛助会員、学生の皆様は(aamt-chem@aichi-amt.or.jp)に直接お申し込みください。後日、参加について連絡いたします。

事前参加登録なしでの当日参加も認めますが、事前参加登録を推奨しております。定員に達した場合は事前参加登録者優先のため、参加をお断りする場合がありますのでご了承ください。

微生物検査研究班

専門教科：20点

日時：4月4日(土) 14:00～17:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録
3月6日(金)～4月4日(土)

定員：120名

開催方法：現地開催

場所：JA あいちビル14階大会議室

テーマ：微生物検査報告の技術
－診療を動かす・誤解を防ぐ・行動を変える－

講師：

- 「“微生物検査”の結果報告を深堀る」
JA 愛知厚生連 江南厚生病院 宮澤 翔吾
- 「感染症診療をミスリードしない報告コメント集
－技師間差を減らすための工夫－」
八千代病院 山口杏理沙
- 「症例から考える“伝わる”微生物検査報告」
JA 愛知厚生連 安城更生病院 杉浦 康行

司会：小牧市民病院 西尾美津留

内容：2026年度は「微生物検査の疑問を一緒に解き明かす一分からないを減らす1年－」を年間テーマとし、日常業務の中で感じるさまざまな疑問に向き合う研究会を開催します。今回は「微生物検査報告」をテーマに、微生物検査の結果報告に求められることについて基本的な視点に立ち返りながら、検査結果が診療にどのように活かされるべきか、その考え方を整理します。また、診療をミスリードしないために、報告コメントにどのような工夫が必要かについても具体的に解説します。後半は症例を用いた質問形式で進行し、「この結果をどのように伝えるべきか」を参加者の皆さんと一緒に考えながら、判断の根拠や思考プロセスを言語化していきます。

「伝えているつもり」から「伝わる報告」へ。日常業務に直結する“伝えるチカラ”のレベルアップを目指しましょう。

開催当日まで事前参加登録可能ですが、定員に達し次第締め切りとなります。また事前参加登録なしでの当日参加も認めますが、定員に達した場合は事前参加登録者優先のため、参加をお断りする場合があります。資料配布の関係上、可能な限り早目の事前登録にご協力ください。

第48回シスメックス学術セミナー

免疫治療の 最前線

Basic Seminar — 新企画! 最新医療をより分かりやすく!

基調講演 免疫の病気、アレルギーの話

熊ノ郷 淳 先生 (大阪大学総長)

講演 皮膚からひも解くアトピー性
皮膚炎の謎と新しい治療法

椛島 健治 先生 (京都大学大学院医学研究科 皮膚科学講座 教授)

Advanced Seminar

基調講演 免疫治療のOverview

熊ノ郷 淳 先生 (大阪大学総長)

第一講演 自己免疫疾患の治療の最前線

田中 良哉 先生 (産業医科大学医学部 分子標的治療内科学特別講座 特別教授)

第二講演 がん免疫療法の前線

富樫 庸介 先生 (岡山大学学術研究院医歯薬学域 (医学系) 腫瘍微小環境学分野 教授)

第三講演 遺伝子改変免疫細胞による
次世代がん治療の展望

玉田 耕治 先生 (山口大学細胞デザイン医科学研究所 所長)

座長 熊ノ郷 淳 先生 (大阪大学総長)

会場: 神戸新聞 松方ホール Web: オンライン配信 (Live)

シスメックス学術セミナー企画委員会

【企画委員長】

矢富 裕 (国際医療福祉大学大学院 大学院長 / 教授)

【企画委員】

小川 誠司 (京都大学大学院医学研究科 腫瘍生物学講座 教授)

清井 仁 (名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学 教授)

◎熊ノ郷 淳 (大阪大学総長)

平田 健一 (神戸大学 名誉教授 / 地方独立行政法人 加古川市民病院機構 加古川中央市民病院 院長)

前川 真人 (浜松医科大学 名誉教授 / 特命研究教授)

松下 弘道 (慶應義塾大学医学部 臨床検査医学教室 教授)

宮崎 泰司 (長崎大学原爆後障害医療研究所 原爆・ヒバクシャ医療部門 血液内科学研究分野 教授)

村田 満 (国際医療福祉大学 臨床医学研究センター 教授 / 慶應義塾大学 名誉教授)

【顧問】

熊谷 俊一 (社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院膠原病リウマチセンター センター長)

直江 知樹 (独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター 名誉院長)

◎:企画ご担当

(敬称略)

2026
5/30
[Sat.]
10:00-16:40

お申し込み
受付中!



シスメックス学術セミナー

検索

<https://scientific-seminar.sysmex.co.jp>

※過去の学術セミナーの情報もご覧いただけます。



お問い合わせ先

シスメックス学術セミナー事務局
E-mail: sysmex-seminar@pac.ne.jp